

科目ナンバリング	HN3-3080R	単位	2	必須・選択	必修
講義名称	ウィメンズヘルスケア				
講義名称(英)					
対象学科	保健看護学科	配当学年	看護2年		
開講学期	前期	授業形態	講義		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限 大) 講義室1 / 前期 火曜日 2時限 大) 講義室1	担当教員	澤田 みどり		

#### 授業の概要

本科目科目は、女性のライフサイクル各期の健康問題及び対策などを母子保健の現状から学び、社会の中の母性に関する課題と看護の役割を適時理解し、他職種と協働・連携して医療上の課題に対応する知識を修得する。1) 母性看護の対象者は、社会に生活し身体・精神・心理・社会的側面を併せ持つ多様な価値観を持つ健康な人間であることを学び、自らの看護観を深めるための学習を行う。2) 女性のライフサイクル各期を通じ、母性として成長、発達、成熟する身体的特徴、生殖機能やホルモン作用と心理・社会的特性である母性を、看護の基礎概念として理解する。3) 女性のライフサイクル各期の健康問題を母子保健の側面から明らかにし、社会や家族・生き方の変化と課題、看護を関連付けて理解する。4) 女性のライフサイクル各期の健康問題及び対策・看護をグループでディスカッションし、資料作成・発表を通じ、各期の学習テーマへの知識を深く理解する。5) 生命の尊厳と人権尊重、専門職としての倫理観を深める。また、自分自身の性や生き方について考えを述べることができる。

#### 到達目標

・母性看護学納金対象を理解し、身体・精神・心理・社会的発達、成熟の特性と看護を述べるができる。・母性看護の歴史の変遷と現状、社会情勢との関係を国内外の母性保健統計の動向などから比較検討し、今後を予測することができる。・リプロダクティブヘルス・ライツや母性に関する法律などを挙げ理解、人権尊重と生命尊厳、倫理観を述べるができる。・女性のライフサイクル各期の健康問題及び現状、国の政策と医療、看護の役割を理解し、考えを述べるができる。・女性各期の健康問題を学び、性や命の尊厳、倫理観を述べるができる。・母性看護の対象者を世界的危機の状態から守るための広い視野を持ち、看護の役割を考え述べるができる。

#### ディプロマ・ポリシーとの関連

学科	DP1	DP2	DP3	DP4
経済学部経営経済学科	-	-	-	-
保健福祉学部コミュニティ福祉学科	-	-	-	-
保健福祉学部保健看護学科			○	

#### 授業の形態及び方法

・授業形態：講義形式とグループワークとプレゼンテーション・ディスカッション・アクティブラーニング・授業方法：パワーポイント、配布資料及びDVDを用いた視覚教材と教科書。事例紹介や報道情報などを用い現状を理解しながら看護を学ぶ。・本講義は、講師の授業時間や授業内容から2講つづけて行うため、1講目より授業に参加できなければ講義内容の理解が不十分になることが予測されるので、忘れずに1講2講を続けて受講することで、プレゼンテーションやディスカッションを通して母性看護を理解、深めることができる。・外部講師による最新医療・看護の実際と課題に関する講義を聞き学ぶ。・講義後には、リアクションペーパーを用い、が授業内容の理解度の確認、次回への授業内容の補足など学びを深めるための対応を行う。

#### 評価方法・基準

・定期試験 100% 筆記試験

授業計画			
回数	授業内容	事前学習	事後学習
第1回	・授業ガイダンス・講義概要の説明。母性看護の対象と看護の特性、社会状況と経済、母性看護の関係	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第2回	・母性看護の歴史的変遷と現状・政策と母性看護の関係をデータや情報を用いてひも解く	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第3回	・母子保健統計からみる、母性の健康、女性の性に関する健康（性感染症など）	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第4回	・女性の健康と家族・社会・人口問題を統計の動向などから検討する	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第5回	女性の性と生殖の健康を、女性と子供の権利「リプロダクティブヘルス・ライツ」の視点から考える	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第6回	・女性のライフサイクルと性周期、性ホルモンを関連付けながら健康という視点で考える	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第7回	・女性のライフサイクルと性周期、性ホルモンを関連付けながら健康という視点で考える・人口統計や経済の変遷と政策、母子保健の現状を、少子高齢化という視点で子育て支援を中心に検討する	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第8回	・人口統計や経済の変遷と政策、母子保健の現状を、少子高齢化という視点で子育て支援を中心に検討し、看護の在り方、役割を考える。	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第9回	・女性のライフサイクル各期の性の発達と健康問題についての補足説明する	次回のテキストの通読と、用語の確認	ノートおよび配布資料、テキストの学習内
第10回	・グループワーク配置とテーマ、進め方について説明・女性のライフサイクル各期	各グループに与えられたテーマに沿って、各	各自のテーマについて調べ、何が学生仲間に
第11回	・グループワーク（学生を無作為に振り分け、各テーマを基に検索し調べてものを要約し、資料作成し、発表を行う。特に制定されていない、新たに作成検討されている、政策や対応策なども取り上げ、テーマのどこか問題解決に当たろうとしている、	各グループに与えられたテーマに沿って、各	各自のテーマについて調べ、何が学生仲間に
第12回	・グループワークプレゼンテーションとディスカッション・グループワーク（学生を無作為に振り分け、各テーマを基に検索し調べてものを要約し、資料作成し、発表を行う。特に制定されていない、新たに作成検討されている、政策や対応策なども取り上げ、テ	各グループに与えられたテーマに沿って、各	各自のテーマについて調べ、何が学生仲間に
第13回	・グループワークプレゼンテーションとディスカッション（学生を無作為に振り分け、各テーマを基に検索し調べてものを要約し、資料作成し、発表を行う。特に制定されていない、新たに作成検討されている、政策や対応	各グループに与えられたテーマに沿って、各	各自のテーマについて調べ、何が学生仲間に
第14回	・外部講師による最新医療と看護（出生前診断と最新医療と命）	講義テーマと最新医療と命に関する情報検索	現代の社会問題とどのようなつながりがある
第15回	・各期グループ発表のまとめと補足講義 ・更年期とホルモンの関係・婦人科疾患の補足講義	ウィメンズヘルスケアでの学びを振り返る。	自分たちの生活やこれからのこの学びがどの
第16回			
第17回			
第18回			
第19回			
第20回			
第21回			
第22回			
第23回			
第24回			
第25回			
第26回			
第27回			
第28回			
第29回			
第30回			

教科書				
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
『母性看護学概論』	森 恵美 他	医学書院	2023	978-4-260-04225-3
『女性生殖器』	末岡 浩 他	医学書院	2023	978-4-260-03567-5
『国民衛生の動向』		厚生労働統計協会	2023	978-4-87511-907-4

教科書(自由記述)

参考書

書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
『ナーシンググラフィカ 母性看護学概論・リプロダクティブヘルスと看護』	中込 さと子 他	メディカ出版	2024	978-4-8404-8160-1
『母性看護学各論』	森 恵美 他	医学書院	2023	978-4-260-04223-9
『厚生労働白書』		厚生労働省	2022	978-4-86579-341-3
『病気が見える Vol110 産科 第4版』	医療情報科学研究所	メディックメディア	2019	978-4-89632-713-7

参考書(自由記述)

その他

履修上の注意として、講義・グループワークやディスカッションがあり、積極的な参加を求めます。

実務経験

実務経験あり  
看護師・助産師・看護管理者として病院勤務